

ComEX は 2012 年 6 月に発刊されたオープンアクセスのレター誌で、通信の全領域を対象の分野としています。常に丁寧かつ迅速な査読を意識することで、投稿から一ヶ月以内 (平均値・2021 年度実績) に判定を返すことができおり、採択率は 44.5% (2021 年度実績) となっています。ComEX は速報性を最重要視しており、アイデアベースの論文は大歓迎ですが、ComEX に投稿することに壁を感じられている方も少なくないようです。実際、研究の完成度に自信がない、という理由で投稿を躊躇されるという話も耳にしております。一方、ComEX は迅速な査読と速報性を実現するために、あえて文字数を 1500 ワードまで、図・表・アルゴリズムの数を 3 つまでと制限しております。この条件は、総合大会・ソサイエティ大会で発表されるほとんどの論文で満足されていると思われます。すなわち、大会原稿の図・表は大きく変えることなく、文章をブラッシュアップすれば、ComEX に投稿できるわけです。

以上の考えに基づき、ComEX 編集委員会は、2022 年総合大会を主な対象とした大会小特集を企画しました。ComEX は採録／不採録のバイナリ判定を査読システムに導入しています。一度不採録判定になった場合でも適切に修正した原稿を本小特集に再投稿できるように、二回の締め切りを設定しました (2022 年 5 月 31 日と 7 月 11 日)。総合大会で発表された研究内容を、世界へ発信できるいい機会でもあります。是非 ComEX に投稿して頂ければと思います。2022 年総合大会発表以外の内容の投稿も受け付けます。

1. 対象分野

本小特集は通信分野の全領域を対象分野としています。例えば、次のようなトピックが挙げられます (ただし、これらに限定しません)。通信基礎理論、電子通信におけるエネルギー、通信のための伝送システム及び伝送装置、光ファイバ通信、通信のための光ファイバ伝送、ネットワークシステム、ネットワーク、インターネット、ネットワークマネージメント／オペレーション、アンテナ伝搬、電磁両立性 (EMC)、無線通信技術、地上無線通信／放送技術、衛星通信、センシング、ナビゲーション、誘導管制システム、通信のための宇宙利用システム、通信のためのマルチメディアシステム。

2. スケジュール

本小特集では 2 つの投稿締め切りが設定されています：

➤第 1 回投稿締切：2022 年 5 月 31 日 (JST) (第 1 回投稿締切の 1 ヶ月前に投稿受付開始予定)

➤第 2 回投稿締切：2022 年 7 月 11 日 (JST) (2022 年 6 月 21 日に投稿受付開始予定)

3. 論文執筆と投稿方法

原稿の本文は 1500 ワードまで、図・表・アルゴリズムは最大 3 つまでに制限されています。詳細は最新版の “Information for Authors” を御参照下さい。 https://www.ieice.org/publications/comex/data/for_authors.html (特に novelty の段落を御確認下さい)。投稿受け付け直後に査読プロセスが開始されます。

第 1 回及び第 2 回の投稿期間の判定通知は、それぞれ 2022 年 6 月 20 日と 2022 年 8 月 1 日を予定しています。第 2 回の投稿期間では、第 1 回の投稿期間に本特集に投稿されなかった原稿はもちろん、第 1 回の投稿期間に投稿し不採録になった原稿の修正版を投稿することも可能です。修正原稿を再投稿される場合は、査読プロセスを円滑に進めるために、第 1 回投稿時に割り当てられた manuscript ID を明示し、査読コメントに対する “Reply Letter” を付加することを推奨致します。採録されたレターは article charge の支払いが ComEX 出版事務局によって確認され次第、advance publication として IEICE ComEX ウェブサイトで公開されます。また、全ての採録された論文は 2022 年 12 月 1 日に特集として IEICE ComEX ウェブサイトに掲載されます。

ComEX は公式フォーマット (LaTeX スタイルファイルまたは Microsoft Word テンプレート) に基づいたレター形式の原稿の電子投稿のみを受け付けます。電子情報通信学会のウェブサイト https://review.ieice.org/regist/regist_baseinfo_e.aspx から原稿と電子版のソースファイル (LaTeX/Word ファイル, 図) を提出して下さい。投稿するとき、 “Journal/Section” として、 [in Conjunction with IEICE General Conference 2022] を選択して下さい。 [Regular-XB] を選択しないよう御注意下さい。

問い合わせ先 森野博章

芝浦工業大学工学部情報通信工学科

E-mail : comex-ss-gc2022@ml.ieice.org

4. 小特集編集委員会

編集委員長 太郎丸 眞 (福岡大)

編集幹事 梅原大祐 (京都工繊大), 森野博章 (芝浦工大)

編集委員 張 裕淵 (東工大), Chiao-En Chen (National Chung Cheng Univ.), Young-June Choi (Ajou Univ.), Chun-I Fan (National Sun Yat-sen Univ.), Mariusz Głabowski (Poznan Univ. of Tech.), Bo Gu (Sun Yat-sen Univ.), Guan Gui (NUPT), 東中雅嗣 (三菱電機), 廣田悠介 (NICT), Ezra Ip (NEC Labs. America), 石原知洋 (東大), タンザ カン (東工大), 小島政明 (NHK), 葛岡成晃 (和歌山大), Zhetao Li (Xiangtan Univ.), Richard T.B. Ma (National Univ. of Singapore), Tzyh-Ghuang Ma (NTUST), 森岡健浩 (産総研), Hoang Nam Nguyen (Vietnam National Univ., Hanoi), 西山英輔 (佐賀大), 小川将克 (上智大), Chuwong Phongcharoenpanich (KMIT Ladkrabang), Nordin Ramli (MIMOS Berhad), 齋藤健太郎 (東京電機大), 澤谷雪子 (KDDI 総研), 高橋英憲 (KDDI 総研), 魏秀欽 (千葉工大), 山本 嶺 (電通大), 山本 秀人 (NTT), Hui Zhang (Nankai Univ.), Miao Zhang (Xiamen Univ.)

- * 投稿時に “Copyright Transfer and Article Charge Agreement” の手続きをする必要があります。
- * 論文が採録された際には、掲載料が必要となりますので、あらかじめ御了承下さい。
- * 非会員の著者の方には、この機会に電子情報通信学会への入会を是非御検討下さい。入会は https://ieice.org/jpn_r/member/join.html からお願いします。すべての著者が非会員のときは、非会員用の掲載料が適用されます。